

4年ぶりの完全開催 ～施設公開・親子環境講座

Report

開催日時 2023年7月29日(土) 9:00～16:00
飯綱庁舎への来所者数 44名(内、親子環境講座 5組 17名)

子どもも大人も楽しんだ1日

「すごかったのしかった」「とてもすてきな所だと知れてよかったです！」(子ども)、「普段はできないよい経験となりました。」(大人)など多くの嬉しい感想をいただきました。

展示コーナー

当所の研究成果を紹介する「研究最前線」の他に、標本庫に収蔵されている植物や昆虫の標本、また哺乳動物のはく製を展示解説しました(写真1)。

収蔵する植物標本約20万点の中には、牧野富太郎氏の採取標本5点もあり、そのうち4点を特別公開しました。その他、SDGsを考えよう、温暖化クイズなど、当所の業務に関連した話題を解説しました。これら展示の多くは、現在もご覧いただけます。

つくってみようコーナー

今年度は、折り紙(動物・植物・雪形)と万華鏡づくり、そして子どもたちに人気の「むささびグライダー(熊谷さとし氏考案)」づくりもおこないました。子どもたちは翼の角度を調整したりしながら、繰り返し飛ばして楽しんでいました(写真2)。



写真1 哺乳類展示



写真2 むささびグライダー



写真3 森の中へ

親子環境講座「ワクワク森歩き」

満足度向上と感染予防のため、2組以内の参加で3回、時差で森歩きをしました。森の中は、さわやかなやさしい風が涼しく、穏やかにのびのびと歩きました。羽化のために木に登りはじめたエゾセミ幼虫との出会い(ラッキーでしたね)など想定しないさまざまなでき事との遭遇が森歩きにはあります(写真3)。林床に寝転ぶと、木々が最上部(約20m高)で日差しを求めて枝を伸ばしている様子が観察できます。

当日は、長野市内で環境イベントが多かった影響か、例年より参加者はやや少なかったものの、参加された方々には楽しんでいただけたようでした。

(陸 斉/自然環境部)

長野県環境保全研究所

スタッフ紹介



● たくさんの植物との出会い

4月から新しく標本庫の管理を務めることになりました荒井沙由理です。

小さい頃から信州の自然の中で育ちました。日常の中でも植物で草遊びをし、時には食べ、時には皮膚かぶれを起こし…とたくさんの自然との思い出があります。社会人になってからも仕事を通じて植物に触れ親しんできました。そん

な私が仕事をする「植物標本庫」、さてどんなことをしている場所でしょうか。

皆さんは押し花を作ったことがありますか?好きな花や目についたきれいな花を本に挟んで自分で作ったこともあれば、押し花を使った可愛い雑貨を手にとったこともあると思います。ですが、ここで作られているのは何十年と先までの未来の研究に役に立てる「標本」作りです。

今、目の前にある植物はどの時代でも当たり前存在していたでしょうか。その時代、その時の自然の条件が重なって目の前に存在しています。標本庫に届けられる植物は私達が生きている“今”の自然の状態を教えてください。年々環境問題に関心が寄せられ、なくなっていく自然を、いなくなっていく生き物をどうすれば食い止められるのか様々な分野で研究が進められています。

私はここに届けられた植物の情報をデータ化し、台紙に貼り付け植物標本を作っています。

研究所では現在20万点以上の標本を収蔵・管理しています。長い時間をかけて集められたその時代の自然の証し。沢山の方々の手で守られてきた標本を次世代に繋ぎ、抱えている環境問題を解決する材料となるように日々努めています。

(荒井 沙由理/自然環境部)

